

CASBEE-建築(新築)2014年版
トーカイ京都工場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質			0.31		-			2.4
Q1 室内環境			0.31		-			2.9
1 音環境		2.6	0.15		-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		1.0	0.20		-			
2 温熱環境		2.6	0.35		-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50		-			
1 室温		3.0	0.38		-			
2 外皮性能		3.0	0.25		-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.0	0.25		-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-			
1 昼光率		3.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
1 昼光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度		3.0	0.15		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25		-			
4 空気環境		3.5	0.25		-			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆又は規制対象外の材料を全面的に使用	4.0	1.00		-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
4.3 運用管理		3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	喫煙室を設置し、非喫煙者が煙にさらされない。	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能		-	0.30		-			2.8
1 機能性		2.4	0.40		-			2.4
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40		-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース	休憩室+食堂で全体面積の1.5%を確保。自販機を設置。	5.0	0.33		-			
3 内装計画		1.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上に0以上を使用	4.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			2.8	0.20				
1	空調・換気設備		1.0	0.20				
2	給排水・衛生設備	井水を利用する。	4.0	0.20				
3	電気設備		3.0	0.20				
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20				
5	通信・情報設備		3.0	0.20				
3 対応性・更新性			3.2	0.30				3.2
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30				
1	階高のゆとり	2F(非居室階)を除き、4350mm/3800mm程度の階高を確保。	4.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.2	0.40				
1	空調配管の更新性	構造部材を傷めずに更新可能。	3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		4.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30				2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.02				5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12				3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.53 住宅(専有部) -	5.0	0.61				5.0
	集合住宅以外の評価(3a,3b)	省エネルギー計算による	5.0	1.00				
	集合住宅の評価(3c)		-	-				
4 効率的運用			3.0	0.24				3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
	集合住宅の評価		-	-				
4.1	モニタリング		-	-				
4.2	運用管理体制		-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	2.7
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1	節水	節水型フラッシュバルブ使用	4.0	0.40				
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60				2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20				
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10				
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20				3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30				
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物と同等	4.0	0.33				4.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33				3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25				
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50				
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25				
1	雨水排水負荷低減		-	-				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33				
3	交通負荷抑制		3.0	0.33				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40				
1	騒音		3.0	0.33				
2	振動		3.0	0.33				
3	悪臭		3.0	0.33				
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制		-	-				
3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
3.3	光害の抑制		3.0	0.20				
1	屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70				
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				